

岡山県クール・エコ・オフィス・プラン
～地球温暖化防止行動計画(事務事業編)～
及び
岡山県環境マネジメントシステム

平成29年度実施結果報告書



岡山県マスコット「ももっち・うらっち」

平成30年10月

岡山県

I 岡山県クール・エコ・オフィス・プラン及び環境マネジメントシステムについて

県では、事務事業における環境配慮の一層の推進と、温室効果ガス排出量の削減を図るため、「岡山県クール・エコ・オフィス・プラン～地球温暖化防止行動計画（事務事業編）～」を平成29年3月に策定し、「岡山県環境マネジメントシステム」の活用により取組を進めた。

（参考）岡山県クール・エコ・オフィス・プランの概要

基準年度：平成27年度
計画期間：平成29年度～平成34年度（6年間）
対象：知事部局、教育庁、警察本部、企業局、議会事務局、各行政委員会の事務局、全出先機関等（学校、警察署等を含む。）が行う事務事業全般。指定管理施設は試行的な取扱いとする。
目標：6年間で温室効果ガス排出量を6%以上削減

II 取組状況

1 温室効果ガス排出量

平成29年度の実績は次のとおりである。

区分	基準年度 H27	H29 実績		（参考） 目標年度 H34	
		※1	基準年度比		基準年度比
温室効果ガス排出量 （t-CO2）	78,378	65,881	-15.9%	73,675	-6%
〔参考〕※2 指定管理施設を含む	110,580	103,202	-6.7%	105,877 103,945	

※1 温室効果ガス排出量は、電力などのエネルギー使用量に係数（排出係数）を乗じて算定している。実績値は、国の公表する毎年の排出係数による。

※2 目標の上段は指定管理施設を除く削減量を反映させた値、下段は指定管理施設を含む合計排出量について6%削減した値。

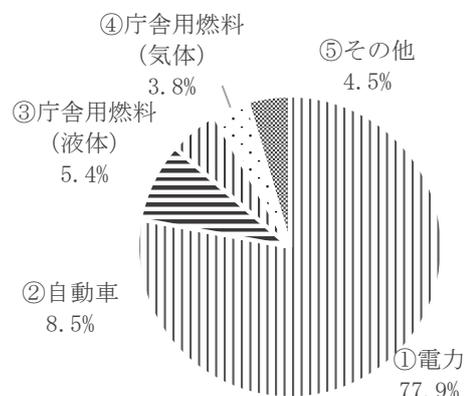
【参考：温室効果ガスの排出要因】

排出要因	排出量 (t-CO2)
① 電力	51,332
② 自動車 ※3	5,567
③ 庁舎用燃料（液体）	3,527
④ 庁舎用燃料（気体）	2,488
⑤ その他 ※4	2,967
計	65,881

※3 「自動車」には、排気ガス、カーエアコンからの漏出を含む。

※4 「その他」は、家畜のふん尿、肥料の使用等によるもの。

温室効果ガスの構成割合
（平成29年度）



2 オフィスワークにおける取組結果

県組織の全ての所属において、次の項目の削減等に取り組んだ。

(1) エネルギー関連項目

温室効果ガスの排出量に直接関連する主な項目について、いずれも6%以上の削減を目標に取組を実施している。

取組項目		基準 年度 (H27)	H29		(参考) 目標 (H34)	
			実績	基準 年度比 (%)		基準 年度比 (%)
指定管 理施設 除く	電力 (MWh)	96,826	101,694	5.0	90,726	△6.3
	自動車燃料 (kℓ)	2,334	2,305	△ 1.2	2,133	△8.6
	庁舎等用燃料 (液体) (kℓ)	1,262	1,388	10.0	1,177	△6.7
	庁舎等用燃料 (気体) (千m ³)	926	994	7.3	863	△6.8
(参考) 指定管 理施設 含む	電力 (MWh)	133,645	146,924	9.9	—	—
	自動車燃料 (kℓ)	2,334	2,329	△ 0.2	—	—
	庁舎等用燃料 (液体) (kℓ)	1,322	1,511	14.3	—	—
	庁舎等用燃料 (気体) (千m ³)	1,378	1,511	9.7	—	—

(2) 省資源等に関する項目

温室効果ガスの排出量に直接は反映されないものの、用紙の製造や水道の供給等に係る事業者が温室効果ガスを排出しており、県が利用する段階で間接的に排出に関わることになることから、前の年度より削減（抑制）することを目途に取組を実施している。

取組項目	H28	H29	
	実績	実績	前年度比 (%)
複写機用紙 (千枚)	131,727	132,297	0.4
事務用封筒 (千枚)	455	479	5.3
水道水 (千m ³)	842	810	△3.8
廃棄物 (t)	1,939	1,849	△4.6

(3) グリーン購入

「平成 29 年度岡山県グリーン調達ガイドライン」に基づく環境物品等の調達を行った。県が重点的に調達を推進すべき物品等である特定調達品目の調達については、目標が 100%であるのに対して、実績は 99.9%であった。

Ⅲ 取組の評価等

1 取組の評価

県の事務事業に伴う温室効果ガス排出量は、順調に削減が図られており、平成 34 年度における目標を達成している。

オフィスワークの取組項目ごとに見ると、「自動車燃料」、「水道水」、「廃棄物」については、減少しているものの、その他の項目については、増加しており、これらの項目の削減が今後の課題である。

2 今後の取組について

平成 29 年度の取組成果を踏まえ、引き続き行政の率先行動として、事業者・消費者の立場での環境配慮の取組を進め、事務事業の実施における省資源、省エネルギー、グリーン購入等の取組を推進していく。

岡山県環境マネジメントシステム 平成29年度年間実績報告書

部局名 総務部

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H27) 実績	前年度 実績	本年度 目標	本年度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	4,129,001	4,518,015	4,085,646	4,435,331	7.4%	-1.8%	×
自動車燃料使用量の削減	6,868	7,011	6,770	5,939	-13.5%	-15.3%	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	311,761	336,769	308,276	317,110	1.7%	-5.8%	×
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	14,686	7,132	7,132	7,490	-49.0%	5.0%	×
複写機用紙使用量の削減		5,417,400	5,417,400	5,354,500		-1.2%	○
事務用封筒使用量の削減		42,100	42,100	38,000		-9.7%	○
水道水使用量の削減		36,735	36,735	37,081		0.9%	×
廃棄物排出量の削減		89,479	89,479	65,897		-26.4%	○

□グリーン購入の達成 ○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施 ○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施 ○

点検の結果、不適合事項 無

3 部局長評価

自動車燃料については、公用車の運転回数の縮減に努めること、エコドライブに努めること等を周知していることもあり、使用量を削減できたと考えられる。また、複写機用紙については、コピー1枚当たりの単価を複写機前に掲示しコスト意識を高めたり、裏紙利用を促進すること等により、使用量を削減することができたと考えられる。水道水については、警察本庁舎の工事等もあり、昨年度より使用量が増加したと考えられる。

岡山県環境マネジメントシステム 平成29年度年間実績報告書

部局名 環境文化部

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H27) 実績	前年度 実績	本年度 目標	本年度実績			達成状況
				数値	増減率		
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	3,325,184	3,497,807	3,290,270	3,281,751	-1.3%	-6.2%	○
自動車燃料使用量の削減	3,589	3,421	3,538	3,344	-6.8%	-2.3%	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	37,000	37,500	36,586	39,200	5.9%	4.5%	×
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	473	503	468	363	-23.3%	-27.8%	○
複写機用紙使用量の削減		2,376,750	2,295,250	2,241,250		-5.7%	○
事務用封筒使用量の削減		19,270	19,270	28,000		45.3%	×
水道水使用量の削減		8,251	8,251	8,391		1.7%	×
廃棄物排出量の削減		7,325	7,325	15,931		117.5%	×

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

自動車燃料について、基準年度(平成27年度)の基準値から目標数値にしたため。

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

○

点検の結果、不適合事項

無

3 部局長評価

・省資源等に関する項目については、所属独自の事務用封筒を大量購入したため増加。また、水道水使用量、廃棄物排出量は、施設の大規模改修によるものである。
 ・温室効果ガス排出量の削減については、業務や気候の関係で増減があり、対応が難しい部分もあるが、更なる削減のため工夫を行っていき、職員の環境意識の向上を図り削減に努める。
 ・環境リスクの高い事務については、適切に管理できている。

岡山県環境マネジメントシステム 平成29年度年間実績報告書

部局名 保健福祉部

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H27) 実績	前年度 実績	本年度 目標	本年度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	447,437	470,850	460,356	458,640	2.5%	-2.6%	○
自動車燃料使用量の削減	21,747	23,411	23,285	22,470	3.3%	-4.0%	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	320	447	396	377	17.8%	-15.7%	○
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	5,189	6,225	6,018	7,035	35.6%	13.0%	×
複写機用紙使用量の削減		6,106,401	6,106,401	6,574,300		7.7%	×
事務用封筒使用量の削減		54,000	49,900	55,700		3.1%	×
水道水使用量の削減		8,240	8,240	8,046		-2.4%	○
廃棄物排出量の削減		15,353	14,661	14,750		-3.9%	○

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○
○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

点検の結果、不適合事項

無

3 部局長評価

・電力使用量、自動車燃料使用量、庁舎用燃料(液体)使用量、水道水使用量、廃棄物排出量については、目標を達成することができている。

・庁舎用燃料(気体)使用量については、気候や業務量の関係による増減があり、年度によって変動があるが、削減に向けた工夫を行っていく。

・複写機用紙使用量、事務用封筒使用量については、課の新設や諸計画の策定事務等による事務量の増加により、目標達成できなかったが、引き続き、裏紙利用・両面使用、再生封筒の活用などの取組を徹底し、削減に向けて取り組んでいく。

岡山県環境マネジメントシステム 平成29年度年間実績報告書

部局名 産業労働部

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H27) 実績	前年度 実績	本年度 目標	本年度実績			達成状況
				数値	増減率		
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	3,556,507	3,557,450	3,519,164	3,746,721	5.3%	5.3%	×
自動車燃料使用量の削減	8,377	7,537	6,500	6,887	-17.8%	-8.6%	×
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	18,794	20,737	18,584	23,171	23.3%	11.7%	×
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	64,784	65,542	64,052	71,139	9.8%	8.5%	×
複写機用紙使用量の削減		2,923,500	2,000,000	3,100,500		6.1%	×
事務用封筒使用量の削減		16,300	15,500	19,200		17.8%	×
水道水使用量の削減		12,860	11,829	14,109		9.7%	×
廃棄物排出量の削減		22,799	14,897	13,421		-41.1%	○

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

○

点検の結果、不適合事項

無

3 部局長評価

部全体で、各項目における微増が見られる。
改善に向けて、所属長・所属内の研修等での呼びかけを通じ、いっそう各使用量の削減が図られるよう取り組んでまいりたい。

岡山県環境マネジメントシステム 平成29年度年間実績報告書

部局名 農林水産部

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H27) 実績	前年度 実績	本年度 目標	本年度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	8,083,760	8,052,524	7,998,881	8,044,798	-0.5%	-0.1%	×
自動車燃料使用量の削減	54,267	52,283	52,283	45,191	-16.7%	-13.6%	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	170,663	191,854	168,755	221,631	29.9%	15.5%	×
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	390,677	396,878	386,263	397,635	1.8%	0.2%	×
複写機用紙使用量の削減		5,522,600	5,246,220	5,564,100		0.8%	×
事務用封筒使用量の削減		20,900	18,500	22,900		9.6%	×
水道水使用量の削減		212,012	212,012	209,122		-1.4%	○
廃棄物排出量の削減		338,219	338,219	339,364		0.3%	×

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

無し

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

○

点検の結果、不適合事項

無

3 部局長評価

電力使用量については、業務効率化に伴う時間外勤務の縮減や、過去5年の各月の使用量をグラフ化し、毎月比較検討する等の取組により大きく削減できた所属もあるが、木材加工業務の増加等により目標達成には至らなかった。複写機用紙については、議会対応・果物関連の観光キャンペーンへの対応による業務増加のため、目標達成はできなかった。しかし、各所属での積極的な周知や、両面・2アップ印刷や裏面利用、プロジェクター使用による会議資料の簡素化等、削減に向けた取組を行った。今年度は、目標達成に向けて、より一層の削減に努める。

岡山県環境マネジメントシステム 平成29年度年間実績報告書

部局名 土木部

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H27) 実績	前年度 実績	本年度 目標	本年度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	192,389	190,685	190,369	197,761	2.8%	3.7%	×
自動車燃料使用量の削減	62	23	61	43	-30.6%	87.0%	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	0	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	○
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	239	206	236	183	-23.4%	-11.2%	○
複写機用紙使用量の削減		3,530,690	3,761,800	3,917,900		11.0%	×
事務用封筒使用量の削減		12,500	12,500	11,100		-11.2%	○
水道水使用量の削減		10,663	10,663	9,698		-9.0%	○
廃棄物排出量の削減		200	200	200		0.0%	○

□グリーン購入の達成

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

瀬戸大橋開通30周年事業等により、使用量の増加が見込まれる為

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

該当なし

点検の結果、不適合事項

3 部局長評価

土木部該当施設のうち後楽園において、施設利用者の増加等に伴い、電力使用量が増加したものの、業務量の増加により、複写機用紙使用量も増えたが、今後も内部の書類にはできる限り裏面及び両面を使用・メールの活用等削減に努める。

岡山県環境マネジメントシステム 平成29年度年間実績報告書

部局名 _____ 出納局 _____

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H27) 実績	前年度 実績	本年度 目標	本年度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	0	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	○
自動車燃料使用量の削減	83,207	81,046	81,046	78,138	-6.1%	-3.6%	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	0	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	○
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	0	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	○
複写機用紙使用量の削減		736,500	732,500	737,500		0.1%	×
事務用封筒使用量の削減		200	400	310		55.0%	○
水道水使用量の削減		0	0	0		#DIV/0!	○
廃棄物排出量の削減		0	0	0		#DIV/0!	○

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

事務用封筒使用量については業務量の関係で使用量の増加が見込まれたため。

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

該当なし

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

点検の結果、不適合事項

3 部局長評価

○自動車燃料使用量について

自動車燃料は本庁の全所属が使用するものであり、出納局だけで削減できるものではないが、使用量を毎月確認するなどして使用量の増減状況を注視している。また、毎年数%ずつではあるが、燃費性能が向上した車両に更新していることもあり、ガソリン使用量の削減につながっていると思われる。

○複写機用紙使用量について

両面印刷、Nアップ印刷、裏面活用等により使用量の削減に取り組んだが、目標達成できなかった。

○事務用封筒使用量について

庁内への発送は再利用封筒を利用するよう呼びかけるとともに、折りたたんで送付できるものは定形封筒の利用を促すなどして、目標達成できた。

岡山県環境マネジメントシステム 平成29年度年間実績報告書

部局名 議会事務局

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H27) 実績	前年度 実績	本年度 目標	本年度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	0	0	0		#DIV/0!	#DIV/0!	○
自動車燃料使用量の削減	2,829	4,345	2,788	4,575	61.7%	5.3%	×
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	0	0	0		#DIV/0!	#DIV/0!	○
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	0	0	0		#DIV/0!	#DIV/0!	○
複写機用紙使用量の削減		744,000	744,000	856,500		15.1%	×
事務用封筒使用量の削減		3,100	2,000	1,600		-48.4%	○
水道水使用量の削減		0	0			#DIV/0!	○
廃棄物排出量の削減		0	0			#DIV/0!	○

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

該当なし

点検の結果、不適合事項

3 部局長評価

・自動車燃料使用量については、正副議長の用務の都合等により増加しており、目標を達成できなかった。
 ・複写機用紙使用量については、業務の都合上、使用量が増加し、目標を達成できなかったが、引き続き、裏紙利用、両面印刷等を実施するよう職員に周知徹底し、削減に努める。
 ・事務用封筒使用量については、再利用封筒や定形封筒を利用するなどし削減に努め、目標を達成できた。

岡山県環境マネジメントシステム 平成29年度年間実績報告書

部局名 人事委員会事務局

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H27) 実績	前年度 実績	本年度 目標	本年度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	0	0	0		#DIV/0!	#DIV/0!	○
自動車燃料使用量の削減	0	0	0		#DIV/0!	#DIV/0!	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	0	0	0		#DIV/0!	#DIV/0!	○
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	0	0	0		#DIV/0!	#DIV/0!	○
複写機用紙使用量の削減		198,000	198,000	203,000		2.5%	×
事務用封筒使用量の削減		1,900	1,600	1,600		-15.8%	○
水道水使用量の削減		0	0			#DIV/0!	○
廃棄物排出量の削減		0	0			#DIV/0!	○

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

該当なし

点検の結果、不適合事項

3 部局長評価

複写機用紙については、新たな採用試験の実施等により、目標を5,000枚上回った。今後はミスコピーの減少、裏紙利用の促進等に努め、使用量を削減してまいりたい。事務用封筒については、前年度から300枚削減され目標を達成した。今後とも引き続き使用量の削減に努めてまいりたい。

岡山県環境マネジメントシステム 平成29年度年間実績報告書

部局名 労働委員会事務局

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H27) 実績	前年度 実績	本年度 目標	本年度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	0	0	0		#DIV/0!	#DIV/0!	○
自動車燃料使用量の削減	0	0	0		#DIV/0!	#DIV/0!	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	0	0	0		#DIV/0!	#DIV/0!	○
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	0	0	0		#DIV/0!	#DIV/0!	○
複写機用紙使用量の削減		133,000	115,000	116,000		-12.8%	×
事務用封筒使用量の削減		500	500	500		0.0%	○
水道水使用量の削減		0	0			#DIV/0!	○
廃棄物排出量の削減		0	0			#DIV/0!	○

□グリーン購入の達成

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

 所属内のみ

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

 該当なし

点検の結果、不適合事項

3 部局長評価

複写機用紙については、目標は達成できなかったが、前年度より減少することができた。複写機前に両面印刷、2アップ印刷を呼びかける掲示をし、意識して削減を行うようにした。
事務用封筒については、目標達成ができた。

岡山県環境マネジメントシステム 平成29年度年間実績報告書

部局名 備前県民局

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H27) 実績	前年度 実績	本年度 目標	本年度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	3,084,696	3,254,222	2,970,423	3,212,251	4.1%	-1.3%	×
自動車燃料使用量の削減	95,590	90,935	94,220	105,289	10.1%	15.8%	×
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	810	540	801	630	-22.2%	16.7%	○
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	1,826	1,768	1,805	1,798	-1.5%	1.7%	○
複写機用紙使用量の削減		6,310,500	5,809,166	6,364,000		0.8%	×
事務用封筒使用量の削減		20,050	12,750	18,400		-8.2%	×
水道水使用量の削減		8,926	8,619	7,856		-12.0%	○
廃棄物排出量の削減		19,573	18,452	19,562		-0.1%	×

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

基準年(H27)実績を基に本年度の目標を算定し設定した。

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

○

点検の結果、不適合事項

無

3 部局長評価

- ・電力、自動車燃料については、局内EMS担当者会議を開催するなどの継続的な取組みを行ったが、目標を達成できなかった。
- ・庁舎用燃料(液体・気体)使用量は、寒冬の影響で暖房や給湯器の使用量が増加した。
- ・複写機用紙は、大規模なアンケート調査を行った部所等の影響で、昨年よりも使用量が増加した。
- ・事務用封筒は、各所属における再利用封筒の利用により前年度実績を下回ったが、目標を達成できなかった。
- ・廃棄物排出量は、各所属の削減取組みにより前年度実績を下回ったが、目標を達成できなかった。
- ・備前県民局職員全員でオフィスワーク目標達成に向けた各種取組を推進する。

岡山県環境マネジメントシステム 平成29年度年間実績報告書

部局名 備中県民局

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H27) 実績	前年度 実績	本年度 目標	本年度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	5,988,758	6,198,576	5,925,876	5,881,813	-1.8%	-5.1%	○
自動車燃料使用量の削減	132,463	128,484	130,564	123,012	-7.1%	-4.3%	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	87,647	102,046	86,667	114,781	31.0%	12.5%	×
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	3,671	3,656	3,630	3,596	-2.0%	-1.6%	○
複写機用紙使用量の削減		7,909,000	7,685,250	7,899,500		-0.1%	×
事務用封筒使用量の削減		33,701	31,500	33,900		0.6%	×
水道水使用量の削減		15,009	14,490	14,838		-1.1%	×
廃棄物排出量の削減		44,785	42,246	40,782		-8.9%	○

□グリーン購入の達成 ○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

平成29年度指標値を目標値として設定したため。(前年度実績が確定した時点で、結果として自動車燃料について前年度実績を上回る事となったもの。)

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施 ○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施 ○

点検の結果、不適合事項 無

3 部局長評価

・前年度実績を上回った項目の理由については、次のとおり。
 「庁舎用燃料(液体)」・・・冬季の気温が例年より低く、またその期間が長かったため。
 「事務用封筒」・・・業務の増加による。
 ・その他の項目については、前年度に比べ使用量を削減することができた。
 ・引き続き、所属長研修、所属内研修等において職員の意識向上を図るとともに、必要最小限の点灯、封筒の再利用、ミスコピーの防止、裏紙利用等を各所属で徹底することにより、使用量の削減を進めていきたい。

岡山県環境マネジメントシステム 平成29年度年間実績報告書

部局名 美作県民局

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H27) 実績	前年度 実績	本年度 目標	本年度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	3,261,090	3,246,148	3,213,836	3,169,910	-2.8%	-2.3%	○
自動車燃料使用量の削減	113,870	106,597	109,094	106,855	-6.2%	0.2%	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	15,394	16,910	15,222	20,208	31.3%	19.5%	×
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	27,217	32,745	26,890	33,248	22.2%	1.5%	×
複写機用紙使用量の削減		6,262,000	5,877,500	5,755,500		-8.1%	○
事務用封筒使用量の削減		34,300	24,600	27,400		-20.1%	×
水道水使用量の削減		9,969	9,561	9,885		-0.8%	×
廃棄物排出量の削減		18,517	14,971	13,511		-27.0%	○

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

○

点検の結果、不適合事項

無

3 部局長評価

エネルギー関連項目については、電力・自動車燃料は継続的な取り組みにより昨年度目標を達成することができたが、庁舎用燃料(気体・液体)は、夏季の猛暑や冬季の厳冬が大きな要因となり昨年度実績を上回ってしまった。
省資源等に関する項目については、一部、局で設定した目標値に届かなかった項目もあるが、全ての項目で前年度実績を下回ることができた。

岡山県環境マネジメントシステム 平成29年度年間実績報告書

部局名 教育委員会

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H27) 実績	前年度 実績	本年度 目標	本年度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	25,484,984	27,079,218	25,217,392	27,995,830	9.9%	3.4%	×
自動車燃料使用量の削減	39,927	36,484	38,212	34,354	-14.0%	-5.8%	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	419,602	412,707	410,787	448,653	6.9%	8.7%	×
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	302,623	322,717	299,204	336,210	11.1%	4.2%	×
複写機用紙使用量の削減		41,516,078	40,311,352	43,527,098		4.8%	×
事務用封筒使用量の削減		87,270	87,095	96,350		10.4%	×
水道水使用量の削減		375,325	374,574	370,559		-1.3%	○
廃棄物排出量の削減		980,301	978,340	935,598		-4.6%	○

□グリーン購入の達成

×

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

○

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

○

点検の結果、不適合事項

有

3 部局長評価

照明スイッチへの点灯エリアの表示や、設定温度の呼び掛け等、所属毎にできる省エネへの取組は進んでいるものの、記録的な寒さとなった冬の影響で、暖房(エアコン、ストーブ等)の使用時間が伸び、電力使用量、庁舎用燃料使用量が増加した。

また、広報活動の活発化や更紙の使用廃止等、種々の原因はあるが、複写機用紙使用量は年々増加している。引き続き、裏紙使用や両面印刷を促すことで、削減に努めたい。

なお、環境リスクの高い事務については、平成29年度に不適合事項が確認された。当該事務は即座に改善するとともに、全所属に対する注意喚起を実施し、適正な管理を指示したところである。

岡山県環境マネジメントシステム 平成29年度年間実績報告書

部局名 警察本部

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H27) 実績	前年度 実績	本年度 目標	本年度実績			
				数値	増減率		達成状況
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	18,314,514	19,147,855	18,116,960	19,294,487	5.4%	0.8%	×
自動車燃料使用量の削減	1,738,741	1,780,800	1,712,876	1,736,697	-0.1%	-2.5%	×
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	199,606	216,152	197,312	202,591	1.5%	-6.3%	×
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	114,282	135,633	112,948	135,162	18.3%	-0.3%	×
複写機用紙使用量の削減		37,088,500	35,131,500	35,662,000		-3.8%	×
事務用封筒使用量の削減		65,300	64,647	83,500		27.9%	×
水道水使用量の削減		133,774	131,375	109,536		-18.1%	○
廃棄物排出量の削減		374,927	371,178	373,718		-0.3%	×

□グリーン購入の達成

○

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

□所属長研修、所属内研修の実施

×

□環境リスクチェックリストによる点検の実施

該当なし

点検の結果、不適合事項

3 部局長評価

各所属において、裏紙の再利用、ライトダウン運動への参加等、省エネに向けた各種取組を推進し、おおむね前年度実績を下回ったものの、目標の達成には至らなかった。

特に、事務用封筒については、平成29年3月の道路交通法改正に伴う事務手続の増大、新規施策の実施等により、使用量が大幅に増加した。

引き続き、目標達成を目指し、更なる削減に向けた取組を推進したい。

岡山県環境マネジメントシステム 平成29年度年間実績報告書

部局名 企業局

1 オフィスワーク取組実績

取組項目	基準年 (H27) 実績	前年度 実績	本年度 目標	本年度実績			達成状況
				数値	増減率		
					対基準年比	対前年比	
電力使用量の削減	19,975,908	20,161,596	19,766,161	20,932,656	4.8%	3.8%	×
自動車燃料使用量の削減	21,614	20,120	21,304	20,550	-4.9%	2.1%	○
庁舎用燃料(液体)使用量の削減	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!		○
庁舎用燃料(気体)使用量の削減	77	97	76	68	-11.7%	-29.9%	○
複写機用紙使用量の削減		926,571	950,000	806,000		-13.0%	○
事務用封筒使用量の削減		3,250	3,250	4,250		30.8%	×
水道水使用量の削減		2,730	1,458	2,188		-19.9%	×
廃棄物排出量の削減		14,403	13,996	11,680		-18.9%	○

グリーン購入の達成

前年度実績を上回る数値を本年度の目標数値とした理由(該当部局のみ)

2 研修・環境リスクの高い事務の実施状況

所属長研修、所属内研修の実施

環境リスクチェックリストによる点検の実施

点検の結果、不適合事項

3 部局長評価

○水道水使用量と電気使用量以外概ね良好である。
 ○水道使用量については本来、河川水を使用している発電所の冷却水を水道水で代用したためである。
 ○電気使用量についても受水企業の景気状況に伴う送水量の増加によるものである。